

私のスピーチのタイトルは日本での時間の大切さ？

日本の時間厳守とは、常に時間を守ることです。仕事の場でもプライベートな場でも、時間を守るということは、あなたが会う人たちを尊重し大切にしていることを示し。

つまり、遅刻は相手の時間を尊重していないことを意味するため、多くの場合失礼です。あるいは、彼らの時間はあなたの時間よりも重要ではないということです。それは人々にあなたが信頼できない、または信頼できないと思われる可能性があります。友人間でも、職場でも、初対面でも、この印象は関係を前向きに続ける上で役に立ちません。

そのうえで、遅れたことを謝ることは重要ですが、日本語のレベルによっては難しい場合があります。さまざまな状況で求められる礼儀正しさのレベルが異なることを考慮すると、これは特に当てはまります。ここでは、遅刻をお詫びする最も一般的な方法をいくつか紹介する。

これは基本的な謝罪ですが。

おくれてすみません。（遅れてすみません）

これはさまざまな状況で使用できるので、難しいフレーズを忘れてしまった場合に備えて覚えておくとい良いでしょう。

次はオルターナティブのとおりですが。

（すみません、遅くなりました）

フォーマルな状況では、次のように言ですが。

おまたせしてもうしわけございます。（お待たせして申し訳ございません）

これは深いレベルの敬意、のフレーズすることにある。

一方で、伝統的な働き方は、新型コロナウイルス感染症やデジタル化のずっと前から確立されていましたが、今では人々が疑問を持ち始めてする。人々は現在、自宅でもオフィスと同じように効率的に仕事ができることに気づいています。紙はデジタル署名付きのデジタル文書に置き換えられることが増えてする。調査によると、留学生が日本企業で働くことを避ける最大の理由は、オフィスでの長時間労働であることがわかっている。

個人的なレベルでは、多くの人が職場での評判を維持することに関心を持っています。たとえば、一番最初に退社したり、あるいは「早退」したりすることは、仕事に専念していないとみなされる可能性があります。同僚と良好な関係を維持し、良い評判を築くことが優先されますし。

日本人は時間にとっても正確よく言われますし。電車、バス、タクシーも常に時間通りに来ますと人は実際に何かを始める 10 分前に準備をするし。日本の鉄道システムは時間厳守を徹底し、常に乗客を時間通りに目的地に届けることで有名ですが。遅延が発生する可能性はありますが、遅延は可能な限り短く、いつも、鉄道会社は遅延について通勤者に謝罪する。新幹線は通常の普通列車よりも正確である、たとえば、平均的な新幹線は定刻よりわずか 5 4 秒遅れで。

1800 年代初頭から中期、つまり江戸時代ごろ、日本では、季節に基づいた異なる時間システムが使用されていました。このため、西洋人の訪問者の時間厳守の期待に応えられないことがよくありました。明治時代のとき、日本の急速な近代化、つまり、モダン化の時代である。

毎日同時に学校に通う必要がある生徒、保護者、教師に対する普遍的な教育の導入。鉄道の導入には、維持が必要なダイヤが必要でした。

結論は、時間厳守のエチケットを理解すると、人々の間で良い印象を維持するのに役立ちます。たとえば、職場や友人や、同僚、日常生活に取り入れ、皆の間で良い評判を維持する。